



日本共産党平塚市議会議員団

団長 松本 敏子

電話・fax 59-4607

mail@matsumoto-toshiko.jp

幹事長 高山 和義

電話・fax 31-4638

k.takayama@mb.scn-net.ne.jp

日本共産党平塚市議会議員団

電話 0463-23-1111 (内線 2375)

平塚市浅間町9-1 平塚市議会控室

No.1726 2025年2月23日発行

日本共産党議員団の法律相談

今回は3月21日(金)です

午後2時～4時 (要予約)

● 議員団にご連絡ください。

湘南海岸公園のエントランス棟に 設置予定のコンビニエンスストアについて

昨年の6月議会及び常任委員会での質疑の中から、この公園を整備するために平塚市が一番配慮しているものとは何かが見えてきます。

龍城ヶ丘海岸公園に整備されるエントランス棟(津波避難施設; 建築面積340㎡)の一階に180㎡の面積のコンビニエンスストアが設置されます。365日24時間営業のコンビニです。

このエントランス棟は特定公園施設といって平塚市の所有です。その中にコンビニができるとなれば、平塚市が直接コンビニ事業者に委託してもいいと思われそうですが、都市公園法第5条の7第4項の規定によりできないことになっているといえます。

【平塚市の説明】

都市公園法第5条の7第4項の解説は、「認定計画提出者以外の者は、その場所について第5条第1項の許可の申請をすることができない。」である。第5条第1項は、設置管理許可や管理許可のことを指し、Park-PFI認定計画提出者である積水ハウス株式会社以外の者が管理許可を与えることができないという条文である。としています。

そのコンビニを平塚市は月20万円で積水ハウスに貸すことにしました。ところが後日、積水ハウスはここをコンビニ事業者に月84万円で貸すことが分かりました。平塚市の施設の一角を使って積水ハウスは64万円/月(20年間にして1億5360万円)の利益を上げることが分かったので。

6月議会で、松本敏子議員は次のように質問しています。

コンビニの使用料について、総合体育館の軽食堂の使用料を引き合いに出し、20万円が妥当と判断したという。

そこは、毎週月曜日が休館、正月休みもある。1日8時間使用して13万3千円となっているが、30年前に設定した額である。そんな昔の設定金額であっても、24時間365日に換算すると月々48万円になる。秦野市では市役所の前にコンビニを誘致し、月々96万円の使用料である。藤沢市も1階にコンビニを入れて、朝7時から夜9時までやっているが、5年間の契約で800万円、月にすると66万円の使用料を取っている。

本市でも現に総合公園の大原からは月70万円を徴収している。20万円は積水側からの要望だというが、なぜ国道沿いで24時間365日という好条件の場所に、コンビニを20万円で妥当と考えるのか。

(担当部長)

コンビニエンスストアに貸すという着目ではなく、その場所を貸すというところに着目した金額というふうに考えている。

(都市建設常任委員会での担当課答弁)

津波避難施設は建物の屋上が避難する施設となっており、その1階部分のトイレ等を除いたスペースが空いたため、その特定公園施設の空いたスペースに管理許可を与えて、貸し出しをして使用料を取っていくものである。あくまでも津波避難施設を建てるために税金を使用し、コンビニエンスストアの設備やそれに関するものは、当然税金ではなく、事業者が設置していくものである。

つまり、常任委員会での説明を併せると、コンビニエンスストアを建設して貸しているのではない。場所を貸しているの、その額

は妥当だということです。

高山和義議員が都市建設常任委員会でコンビニの使用料について質問したことに対し、担当課は以下の答弁をしています。

●市としてはまずこのPark-PFIで特定公園整備費の10パーセントの提案をし、決定した事業者から負担してもらうというスキームでやっている。事業者はこれから約20年間で、1億4千万円を捻出し、この事業に参画するわけである。今回のコンビニエンスストアについては、本来条例に従えば、180平米では、3万6000円しか取れないが、事業者側から月20万円、年間240万円をもらうことになる。そのとき一番平米単価が高い総合体育館の軽食堂よりも上回っていたため、総合的に妥当だと判断したものである。

●他の自治体ではもっと多くもらっているという話だった。確かにそういった事は考えているが、この事業は、先ほども言ったが、特定公園の整備費に事業者はまず、約1億4千万円を負担してもらうことになっている。事業者がこれから回収する作業が必要になってくる。その1億4千万円を無視して設定してしまうと、そもそも事業の参画等がなかったのではと考えており、適切であると考えている。

コンビニでの事業者収益は20年間で1億5千万円、駐車場は年間約60万円で貸し出す。85台から1日わずか300円徴収しても、20年で1億8千万円。いくら収益を見込めたらOKなのかが見えない。P-PFI事業は、事業者が運営する公募対象公園施設の収益で公園の運営・維持管理をするはずが、なぜか平塚市は、市への収益を犠牲にしても事業者の利益確保に注力しているように見えてならない。

3月議会 本会議5日目 3月3日(午前) 高山和義議員が質問

発言の主題とその要旨

1 令和7年度施政方針から

(1) 経済の見通しと市民生活の実態

(2) 4つの重点戦略から

- ア 重点戦略1「子どもを育む環境づくり」
- イ 重点戦略2「活気あふれる産業づくり」
- ウ 重点戦略3「高齢者の想いに寄り添う環境づくり」
- エ 重点戦略4「安心・安全で快適なまちづくり」

2 平塚市文化公園会館の設置及び管理等について

3 公共下水道管の緊急点検の結果と今後の対応について

4 湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業について

先が見えない 派遣労働の実態

「派遣社員」の若者から相談が来しました。

派遣社員の多くは、そこで働くことを条件に寮が用意され、住むことには困りません。また、お金がなくて就職しても、1週間、または2週間働いた段階で「前貸し」をしてくれます。だから、正規で働きたくても、1か月先までの生活費とアパートの契約金が払えない人は、派遣の仕事を選ぶしかないのです。

派遣を繰り返している若者の多くは、お金がない。なぜかという、入った月のアパート代は次の月に引かれるので、契約が切れた時には2か月分を払うことになり

ます。しかも、「前借り」したお金も支払うから、わずかなお金を握って次の派遣に付き、その会社で、また「前借り」から始まることになります。

今回の若者も、前の会社の契約が切れ、そこを出た段階で、交通費と数日の食事代しかなかったといいます。また、会社の寮生活と「前借り」から始まる人生・・・。

まったく先の展望が見えません。こんな若者をつくり続ける日本でいいのでしょうか。



当初予算で見る 市税の状況

一般会計当初予算の市税の推移

		2021年度 令和3年度	2022年度 令和4年度	2023年度 令和5年度	2024年度 令和6年度	2025年度 令和7年度
市町村民税		164億4785万9千円	181億1210万0千円	184億0086万6千円	179億7570万3千円	203億5868万1千円
内訳	個人市民税	145億9405万6千円	150億0286万4千円	157億4988万4千円	150億2464万1千円	169億2701万8千円
	法人市民税	18億5380万3千円	31億0923万6千円	26億5098万2千円	29億5106万2千円	34億3166万3千円
固定資産税		190億4627万7千円	196億6764万7千円	201億5854万2千円	210億9378万1千円	217億7825万4千円
軽自動車税		5億1256万9千円	5億6284万5千円	5億7774万4千円	5億8305万8千円	6億263万7千円
市たばこ税		16億3436万1千円	17億3759万0千円	18億8816万8千円	18億2623万8千円	18億4065万9千円
都市計画税		26億187万0千円	26億4373万0千円	26億9461万6千円	28億342万3千円	28億4657万5千円
合計		402億4293万6千円	427億2391万2千円	437億1343万6千円	442億8220万3千円	474億2680万6千円

当初予算で見る 地方消費税交付金の推移

年度	予算額(千円)
令和3年度	5,190,000
令和4年度	5,670,000
令和5年度	6,000,000
令和6年度	6,000,000
令和7年度	6,353,000

神奈川新聞によると、県内自治体の多くが2025年度当初予算は「過去最大」と発表しています。

平塚市も一般会計では1,059億8,000万円と過去最大となりました。個人市民税が前年度比で19億円増加した大きな要因は、定額減税が終わったことによる増収とされています。

物価高騰に対する支援策だった「定額減税」は打ち切られましたが、今なお次々と商品の値上げが続いています。また、物価上昇は消費税にも影響し、地方消費税交付金として平塚市に入ってくる金額も年々増加しています。(左の表参照)

物価高騰によって市民の暮らしが圧迫されている中での増税による「過去最大規模」の予算となったものであり、市民の生活を応援する施策がより多く実施されるよう、予算書を確認し、皆さんの声を追加予算としても盛り込めるよう力を尽くします。



龍城ヶ丘の樹林帯

2月12日、予算説明会の中で湘南海岸公園整備の現場を視察しました。残された樹林帯のあちこちから、その先の空が見えています。

樹林帯は海岸から10m残すという答弁はどうなったのか、住民への影響は大丈夫なのか、議会でも質してゆきます。